

1 園目標

丈夫な子 自分で考え行動する子 意欲的な子 表現力豊かな子 仲間を大切にする子

2 今年度の主な取組内容や園児の様子

重点的な取組	状況
心地よい環境設定	定期的に安全点検を職員間で共有し、環境整備や修理依頼を行いました。同時に個人情報の取扱いも見直しました。予測できる危機管理を発信しながら、状況から判断する応用の効く訓練を行いました。ヒヤリハット事案や事故報告を通して、手立てを加えながら保育を組み立てました。
保護者との連携	コロナ禍での感染防止対策を行いながら、保護者との連携を工夫しました。文書発信を中心に個別対応も加えながら、緊急対応はスクールメールを使用しました。短時間、分散入替制で保護者参加行事にも取り組みました。その中で、園児の成長も保護者と確認しあいました。
保育者としての質の向上	感染防止対策を行いながら、保育内容（発達保障）や行事等で大切な視点を、職員間で発信しながら、園全体の保育に反映させました。保育を創る視点を持つカリキュラム会議や乳幼児会議も職員の研修の場としました。

3 今後の取組

重点的な取組	内容
心地よい環境設定	定期的に園内外のハザードマップを見直します。引き続き予測できる危機管理を発信しあい、状況に応じた環境づくりに努めます。
保護者との連携	保護者との連携を工夫・吟味しながら、互いに育ち合える視点を大切にします。家庭状況を配慮しながら、丁寧に対応します。
保育者としての質の向上	子供一人ひとりを大切に、保育・教育を提供できるよう計画等を作成します。子供の姿と発達段階を振り返りながら、保育内容を創ります。人権学習も含め、職員集団で創る保育を大切に、会議等で検討します